

1 1 月定例所長会見における高橋所長挨拶内容

○ 所長の高橋でございます。本日、私からは 4 点申し上げます。

○ まずは、「7 号機の再起動」についてです。

漏えい燃料が確認された 7 号機につきましては、9 月 26 日に原子炉を停止し、漏えい燃料発生の原因調査を行った結果、漏えい燃料集合体の詳細点検で発見された異物を原因とする、発生時期や発生場所が予測できない事象と推定され、設計・製造等に起因した要因および中越沖地震による影響ではないことを確認しました。

また、本調査で確認された漏えい燃料集合体 1 体ならびに異物フィルタなしの燃料集合体など計 100 体について、異物フィルタ付きの新燃料への取り替えが完了したことから、11 月 8 日に原子炉を再起動し、11 月 10 日に発電を開始いたしました。

7 号機につきましては、今後、出力を定格熱出力まで上昇させ、総合負荷性能検査の受検に向け、安全・安定運転に努めてまいります。

○ 2 点目は、「6 号機のプラント全体の機能試験」についてです。

6 号機のプラント全体の機能試験・評価につきましては、9 月 28 日に最終的な評価結果について問題がないことを確認しました。また、これまでの各段階における評価結果につきましては、報告書としてとりまとめ、原子力安全・保安院へ提出しております。

その後、10 月 9 日に原子力安全・保安院より、10 月 30 日には原子力安全委員会より、それぞれプラント全体の機能試験・評価結果について安全上の問題はないことのご確認をいただきました。また、10 月 16 日には、6 号機の運転再開にあたり、新潟県、柏崎市、刈羽村からいただいております 4 項目のご要請への対応状況について、各自治体へご報告いたしました。

6 号機につきましては、今後、地元自治体のご意向などを踏まえながら、総合負荷性能検査に向け、安全・安定運転を継続してまいります。

○ 3 点目は、「1 号機と 5 号機の系統機能試験」についてです。

1 号機と 5 号機につきましては、機器単体レベルの基本点検がほぼ完了しており、次の段階となる系統レベルの健全性確認に関する点検・評価計画書を、10 月 8 日に国へ提出いたしました。

1号機は30項目、5号機は28項目の試験を予定しておりますが、これまでに試験開始の準備が整ったことから、5号機は11月13日より、1号機は11月17日より系統機能試験を開始いたします。

○ 4点目は、「排水配管の接続状況に関する調査」についてです。

当発電所では、福島第二原子力発電所1号機において、排水配管の接続ミスに伴うトリチウムを含む水の放出が判明したことを踏まえ、11月2日より、類似する排水配管を対象として、同様な接続ミスの有無を確認するための調査を行っております。

本調査の中で、1号機の建設時に排水配管の一部に接続ミスがあったことが確認され、地域の皆さまにご心配をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

本接続ミスにより、これまで放出された水に含まれるトリチウムの濃度を評価した結果は検出限界未満であり、外部への放射能の影響がないことを確認しております。また、トリチウムの年間放出量の試算値も、保安規定で定める基準値の5,000万分の1程度と十分低い値です。

当発電所といたしましては、引き続き、排水配管の接続状況について調査を行いますが、その調査結果につきましては、まとまり次第お知らせいたします。

○ 最後になりますが、今週の月曜日と火曜日の2日間、柏崎市と刈羽村において中越沖地震後10回目となる地域説明会を開催いたしました。

当発電所といたしましては、今後もこうした様々な機会や各種媒体を通じて発電所の状況を分かりやすく説明するとともに、地域の皆さまの声や思いを、発電所の業務運営にしっかりと反映してまいります。

以 上

添付)

- ・ 柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX
- ・ プレス公表（運転保守状況）

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成21年11月)

平成21年11月12日

① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況											補足説明
			12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
1号機 110万kW (S60.9.18運開)	第15回定期検査中 定検停止期間:H19.5.4~	第14回 H17.6.14~H18.5.30 停止期間 H17.6.14 ~ H18.4.30 (321日) (原子炉起動H18.4.26)	第15回定検による停止											
2号機 110万kW (H2.9.28運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H19.2.19~	第11回 H17.9.3~H18.5.9 停止期間 H17.9.3 ~ H17.12.25 (114日) (原子炉起動H17.12.22)	第12回定検による停止											
3号機 110万kW (H5.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H19.9.19~	第9回 H18.5.12~H18.9.15 停止期間 H18.5.12 ~ H18.7.27 (77日) (原子炉起動H18.7.24)	第10回定検による停止											
4号機 110万kW (H6.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H20.2.11~	第9回 H18.4.9~H19.1.11 停止期間 H18.4.9 ~ H18.12.14 (250日) (原子炉起動H18.12.11)	第10回定検による停止											
5号機 110万kW (H2.4.10運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H18.11.24~	第11回 H17.7.4~H17.11.2 停止期間 H17.7.4 ~ H17.10.8 (97日) (原子炉起動H17.10.8)	第12回定検による停止											
6号機 135.6万kW (H8.11.7運開)	第8回定期検査中 定検停止期間:H19.5.24~H21.8.31 現在調整運転中	第7回 H17.12.10~H18.5.12 停止期間 H17.12.10 ~ H18.4.13 (125日) (原子炉起動H18.4.10)	第8回定検による停止											
7号機 135.6万kW (H9.7.2運開)	第8回定期検査中 定検停止期間:H19.11.15~H21.5.20 H21.9.25~H21.11.10 現在調整運転中	第7回 H18.8.23~H19.1.11 停止期間 H18.8.23 ~ H18.12.5 (105日) (原子炉起動H18.12.2)	第8回定検による停止											【7号機】 ・11月10日、燃料取り替え完了に伴う発電開始。(お知らせ済み)
			燃料取り替えのため計画停止											

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

② 発電所設備利用率(%) (10月末現在)

10月	17.1%
21年度累計	13.9%
運転開始後累計	66.8%

③ 発電所発電電力量(万kWh) (10月末現在)

10月	104,280
21年度累計	584,188
運転開始後累計	80,776,024

④ ドラム缶発生量(本) (H21年度第2四半期)

当期発生本数	1,192
貯蔵庫累積貯蔵本数	26,504
貯蔵庫保管容量	45,000

⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (H21年度第2四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	12,380
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

⑥ 構内従業員データ(人) (11月2日現在)

		東京電力	協力企業	比率
県内	柏崎市	851	2,992	39%
	刈羽村	85	326	4%
	その他	95	1,606	17%
	小計	1,031	4,924	60%
県外		116	3,794	40%
合計		1,147	8,718	-
		9,865	100%	
協力企業社数(社)		996		

※「比率」について端数処理の関係で数値と計が含まない場合がある。

⑦ 来客情報(人) (10月末現在)

	10月	年度累計
地元	2,449	10,858
県内	1,279	9,869
県外	4,066	22,103
国外	94	289
合計	7,888	43,119

⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
11月14日	柏崎・夢の森公園「第8回森作り活動」!! (柏崎・夢の森公園)
11月19日	ヨガエクササイズ教室 (柏崎エネルギーホール)
11月19・20日	第137回名画鑑賞会 (柏崎エネルギーホール)
11月21日	秋の収穫祭 (き・な・せ)
11月28日	柏崎・夢の森公園「第9回森作り活動」!! (柏崎・夢の森公園)
12月5日	柏崎・夢の森公園「第10回森作り活動」!! (柏崎・夢の森公園)
12月10日	次回定例所長会見予定
12月13日	ミュージックライブ アット カムフィー (カムフィー) 「一足早いクリスマスコンサート」 AYAKO WITH REJOICING
12月17・18・19日	木の実のクリスマスツリーづくり 【柏崎会場】12月17・18日 (柏崎エネルギーホール) 【刈羽会場】12月19日 (き・な・せ)

インターネットホームページアドレス
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

東京電力株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)

プレス公表（運転保守状況）
～中越沖地震関連を除く～

平成21年11月12日
定例所長会見資料

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
①	10月19日	1号機	残留熱除去海水系配管からの海水の漏えいについて (区分Ⅲ)	<p>（事象の発生状況） 定期検査中の1号機において、平成21年10月17日午前9時41分頃、海水熱交換器建屋（非管理区域）1階の残留熱除去海水系配管から海水が7～8秒に1滴程度、床に滴下していることを、付近で作業をしていた協力企業作業員が確認しました。このため、漏えい箇所の調査を開始するとともに、午後4時50分頃、当該配管へ海水を流している残留熱除去系海水ポンプを停止し、漏えいは停止しました。その後、当該配管の周辺を覆っている保温材を取り外して漏えい箇所の調査をおこなったところ、10月18日午前10時頃、配管表面に直径約2mm程度の孔を確認しました。</p> <p>（安全性、外部への影響） 漏えいした海水は放射性物質を含んでおらず、本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>（対応状況） 当該配管の応急処置を行うとともに、漏えい確認を実施して異常のないことを確認しております。原因を調査した結果、孔が開いた推定原因は、配管内のゴムライニングに何らかの傷が発生し、配管内を流れる海水がその傷により浸透し、その海水による内面の腐食が進んだためと思われます。現在、配管漏えい対策について検討しております。</p>
②	10月20日	1号機	非常用取水路（屋外）におけるけが人の発生について (区分Ⅲ)	<p>（事象の発生状況） 平成21年10月20日午前5時10分頃、1号機非常用取水路の地盤改良工事に従事していた協力企業作業員が、ボーリングの準備作業として、油圧モーターに接続金物を仮止めする作業を行った際、接続金物に回転防止のための送水管を取り付けていなかったため、油圧モーターと接続金物が連動して回転してしまい、ボーリングマシン本体と接続金物の間に左手親指先端をはさみ負傷しました。左手親指先端部より出血していたことから、業務車で作業員を病院に搬送しました。</p> <p>（対応状況） 病院での診察の結果、左手親指挫創（指先1cm程度の傷）と診断され、4針の縫合治療を受けました。現在、原因の分析と対策を検討しております。</p>